

「耳マーク」カードの貸し出しについて

耳マークについて

目の不自由な人の「白い杖」や「くるま椅子マーク」などと同様に、耳が不自由であるという自己表示が必要ということで考案されたものが耳マークです。

耳に音が入ってくる様子を矢印で示し、一心に聞き取ろうとする姿を表したものです。

〈社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（全難聴）HP から一部抜粋〉

ご希望の方に貸し出しします。①～④の4種類ありますので、必要なカードを申し出てください。

①



②



③



④（自由筆記用）



◆医師・看護師等病院職員から見えるように、首から掛けてご使用ください。

◆お帰りの際、総合案内もしくは守衛室（入退院センター隣）に返却してください。